

1. 平成28年度の事業報告

平成28年度も期首に打ち立てた基本的理念である「ほっとけない」課題に対して「ほっとかない」社会環境づくりに向けて以下の3項目の方針に沿って取り組んだ。

- ① NPO・市民活動のパブリック・リレーション力向上（組織情報の開示と活動内容の発信）
- ② NPO・市民活動のインフラストラクチャー及びキャパシティービルディング
- ③ NPO・市民活動を支える仕組みの構築（寄付文化醸成、潜在的活動層・潜在的関心層へのアプローチ）

上記3項目の方針を踏まえ、主な事業での活動を報告する。

1. 新情報ポータルサイト構築による情報発信の拡充

一昨年はシステム構築までに留まり、公開まで至らなかった新情報ポータルを9月からオープンすることができた。本来の目的である活動している人たちだけでなく、未だ活動していない、あるいは、NPOを知らない人たちがNPOに触れられる入り口となるような情報発信サイトとして構築した。発信に際しては、情報の質と量を拡充させて、これまでにないアクセス数を記録した。また、既存しみセンホームページやSNS（Facebook等）との連動による発信力の強化を図り、より広い受信者へのアプローチを試みた。

今後は情報内容の充実と共に利用者の利便性も考慮した情報発信ツールとしての成熟度を上げて行きたい。

2. 講座における社会的ニーズに合わせた内容構成への転換

新規施策として、外部講師による「認定NPO法人について」の講座を実施すると共に、「理事会・総会の役割」についての内容講座を実施した。これらは団体にとって組織運営での組織基盤強化（キャパシティー・ビルディング）として知っておくべき視点に対応した構成内容とした。

また、専門家相談会や出張講座に際しては希望者のニーズ（時と場所）に合わせた柔軟な対応体制を組んだ。

初歩講座から認証講座に至るすべての講座の中で、時勢に応じた「改正NPO法」についても付加し、常に新しい情報を寸時に伝えることを心掛けた。

3. 「市縁堂」運営での多様なセクターの人材による編成・運営

運営体制や開催目的、開催場所を一新して、新しい形での「市縁堂」事業を実施した。

企画・運営では有識者や企業経験者などに参画して頂き、「実行委員会」形式での実施体制を構成した。

従来、団体の広報力アップの場として「市縁堂」があったが、前年度から開催目的の1つとして掲げていた「寄付文化醸成」に向けた事業内容に転換するために参加団体については、これまで活動経験豊富な団体を中心に選出し、プレゼンテーションをおこなった。結果、寄付額は前年

度の3倍の額が集まり、団体の中には、この場(機会)での経験が自団体の運営(資金調達)でのヒントとなり、今後の活動推進の役に立ったとの意見を得た。また、来場したNPO法人関係者からも、この様なイベントに是非参加したいと意欲を示す団体もあった。

なお、課題として、対象来場者となる一般市民の参加が期待より少なかった点で次年度での開催においては市民への寄付意識向上を施策として展開したいと考える。

4. 製作媒体のコンセプトの転換

情報誌「hotpot」作成において、基幹コンセプト『ほっとけないを、ほっとかない』を記述内容に盛り込み、市民活動を実践している者を応援する支援者へ届く様に、市民活動に関心が薄い層(潜在的関心層)にも手に取りやすい紙面作りに取り組んだ。読みやすい記事構成の中で社会課題を提示する文章構成でコンテンツにてまとめた。

「寄付ラボ」第3弾では、今回の視点を「寄付を集めるための苦労や課題」にフォーカスして、さまざまな方々からの言葉をまとめた。今後も寄付の多様な側面からの内容で作成を進めたいと考える。

5. 人材育成

主軸業務としての「相談」事業では応対するスタッフの力量形成が重要である。相談対応では個々の知識と経験に基づき、回答の仕方やアドバイス方法まで違ってくる。月に1回は職員間での事例勉強会を開き、情報の共有とスキルアップの能力強化を推進した。

個別相談対応では、応対した個人だけの情報蓄積に留まらない様に、相談シートを作成し、他の職員が同一者からの相談に対応できるようなシステムを構築した。

連携促進では市内13施設の「いきいき市民活動センター(以下、いきセン)」との合同研修会開催や個々の「いきセン」との協働事業推進(コーディネート等)に積極的に取り組んだ。

また、連携推進では、大学内ボランティアセンターや学生 place+等との事業連携を進め、これからの市民活動推進の担い手である若者の育成に注力した。

6. 京都市災害ボランティアセンター運営

平成28年4月14日及び16日に発生した熊本地震災害において、運営にたずさわる関係諸機関との連携を取り、迅速なる対応を推進し、3回に渡るボランティア派遣を実施した。被災地の情報収集、ボランティア募集・派遣手配など多様な災害支援活動に従事した。

また、9月3日に梅小路公園芝生広場で開催した「京都市総合防災訓練(主催:京都市)」に市・区災害ボランティアセンターの一員として参画した。平成29年3月には市・区災害ボランティアセンター関係者による合同研修が行われ、運営側として市災害ボランティアセンターにて協働した。